

## Current Status and Issues of School Health from VUCA Perspective

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2022-12-22 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 鈴江, 毅 メールアドレス: 所属:
URL	<a href="https://doi.org/10.14945/00029249">https://doi.org/10.14945/00029249</a>

# VUCAからみた学校保健の現状と課題

Current Status and Issues of School Health from VUCA Perspective

鈴江 毅

SUZUE Takeshi

（令和4年11月30日受理）

## 要旨

近年、世界的に感染症の大流行や戦争など多くの出来事が、かつてない規模、タイミングで起こり、状況は様々な理由で複雑となり、どのような出来事が起こっているのか、これからどうなるのか、どの情報が正しいのか、わかりにくい、いわゆる VUCA（ブーカ）の時代に入ったと言われている。VUCA は、Volatility（変動性）、Uncertainty（不確実性）、Complexity（複雑性）、Ambiguity（曖昧性）の4つの単語の頭文字をとった造語である。

我が国においても、産業界を中心に議論されてきた VUCA はその舞台を様々な分野におろしつつあり、学校保健の現場にもその波は押し寄せ、コロナ禍を契機に学校保健を見直すきっかけにもなっている。現在、学校保健の現場では、不登校、いじめ、自殺、感染症、などの問題が山積している。それらの諸問題の具体的な対応策・解決策としてのOODAループ（Observe みる・Orient わかる・Decide きめる・Act うごく）の考え方を紹介する。

VUCA の時代は「今まで通りの延長線ではない時代」であることを意識して、積極的に情報収集し、状況を把握し、新しい決断をすばやく行動に移し、学校保健を次の段階に引き上げていくことが我々の責務であると考えられる。そのために複雑性・多様性の正しい理解と、変化に対応できる柔軟性、すばやく行動するための連携、そして自己や他者との対話が重要と考えられた。

キーワード：VUCA、OODAループ、学校保健、養護教諭、保健室

## 1. VUCA(ブーカ)とは

2022 年は、当初よりコロナ禍の混乱から始まり、オミクロン株の大流行、北京冬季オリンピック開催、ロシアのウクライナ侵攻、北朝鮮のミサイル発射、戦後の国際秩序崩壊の兆し、と世界史的な出来事が続き、「将来の予測が困難な状態」いわゆる VUCA の時代に突入したことを実感している。VUCA とは「先行きが不透明で、将来の予測が困難な状態」を意味する用語である。元々は 1990 年代後半に軍事用語として発生した用語であるが、2010 年代に入ると、昨今の変化が激しく先行き不透明な社会情勢を指して、ビジネス界において急速に使われるようになり、現在では多くの分野で応用されている。VUCA は、こちらの4つの単語の頭文字をとった造語である。

Volatility(変動性)    Uncertainty(不確実性)    Complexity(複雑性)    Ambiguity(曖昧性)

政治・経済から個人の生き方に至るまで、ありとあらゆるものが複雑さを増し、将来の予測が困難な状態にある。例えば、第二次世界大戦の東西冷戦を経て、今や様々な国の政治の形態は複雑で先行きは不透明になっている。今まで普通にやってきたことやスタンダードだと思われてきたことが崩れては、新しいものに入れ替わっている。さらに、新型コロナウイルスの流行や、地球温暖化に伴う気候変動による大雨や台風、地震・津波といった災害など、予測困難なことが次々と起こっている。わが国においても高度成長期という神話が崩壊し、少子高齢化から人口減少社会への変化が深刻な問題となっている。グローバリゼーションの波を受け、終身雇用や年功序列といった制度は成果主義へと入れ替わっている。これらの事象が今後、社会や個人にどのように影響を及ぼしていくか、すべてを見通すことは難しい時代になっている<sup>1)</sup>。

文部科学省の発表によると、「現在の日本の教育における課題」として挙げられているのが、いじめ・不登校等の生徒への対応、特別支援教育の充実、外国人児童生徒への対応、子供の学力低下への対策、家庭の貧困による教育格差、少子高齢化による生徒数の減少や教職員の環境などである<sup>2)</sup>。近年では、若年者の自殺も増加している。様々な健康事象も、時代に沿って大きく変動し続け、現在の状況は常に複雑で全体像はとらえにくく、事実是不確実で、行き先は予測しづらく、曖昧なままの状況に甘んじなければならない。特に学校の危機管理の分野でその傾向は顕著であり、喫緊の課題といえる。

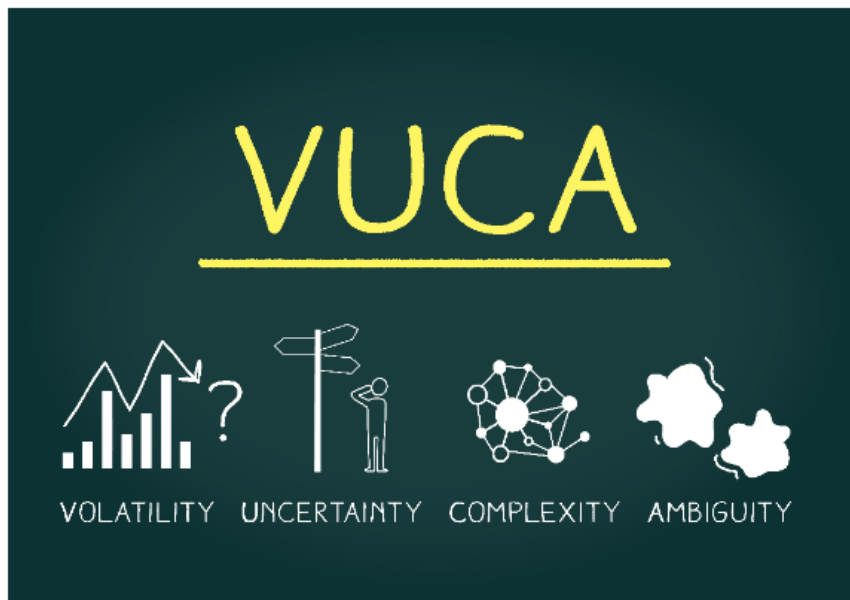


図1 VUCA概念図

## 2. 学校保健における VUCA

### 1) ゆく河の流れは絶えずして、しかももとの水にあらず…… Volatility(変動性)

「ゆく河の流れは絶えずして、しかももとの水にあらず。よどみに浮かぶうたかたは、かつ消えかつ結びて、久しくとどまりたるためしなし」(現代語訳：さらさらと流れゆく川の水は絶えることがない。しかもよく見れば新しい水と常に入れ替わっており、どんどん変化している。流れがよどんでいる水面には次々と泡が浮かんで、大きな泡も小さな泡も、生まれたかと思うと、すぐに消えていく)『方丈記』。人間の細胞も毎日少しずつ入れ替わっており、6～7年も経てば完全に入れ替わると言われている。また、ダーウィンの進化論には次のような一節がある。「最も強い者が生き残るのではなく、最も賢い者が生き残るのでもない。唯一生き残ることが出来るのは、変化できる者である」すなわち、変化は生き物の原点であり、変化こそが生きるという意味だと考えられる。

新型コロナウイルスはまさに変動してきたものである。変異株が次々と現れて、それに合わせて対策も次々と変わっていかざるを得なくなった。2020年アルファ株から始まり、ベータ株、ガンマ株、ラムダ株、そしてオミクロン株へと変遷を辿った。ワクチンも開発されたが、それをあざ笑うかのように新型コロナはその姿を変えて、生き残り作戦を続けている。

養護教諭が扱う課題も時代とともに変化してきた。若年者の問題行動も、昔は不良、非行、暴走族など分かりやすいものだった。しかし今はSNSやオンラインゲームなど巨大な仮想空間上に集まり、善かれ悪かれ限界のない様々な活動を行っている。盛り場にあるゲームセンターやカラオケボックスではなく、自宅や先輩の家などに引きこもっているかのように見える。子どもたちを取り巻く新たな課題が刻々と変化し、それに伴い、養護教諭の健康相談活動に必要とされる理論や技術、対応もこれまで以上にスピード感を持ち、常に新たな視点や知識の更新が必要とされている<sup>3)</sup>。

### 2) 確かなものなどなにもない…… Uncertainty(不確実性)

かつて、十八世紀、十九世紀といった時代には、社会経済体制の指導原理の上で人びとに確信を与え得るような哲学があり、それが人びとの判断力の支えになっていた。ところが現代では、そういう確信をもてるような哲学がなくなってしまった。それが『不確実性の時代』の基本的な趣旨である。不確実性の時代、そう言われてもう40年が過ぎた。そして今も続いている<sup>4)</sup>。

昔、我々が学生時代には受験戦争と言われ、「なんとかよい大学に入れば、卒業してよい会社に入れるだろう。嫁さんもらって子ども作って、30年ローンで家を買って、車はいつかはクラウンだ。これで一生安泰だ」とされていたのだ。今の我々がそんなものが幻想にすぎないことをとっくに知っている。この世は一寸先は闇であり、想定外のことが起こるのだ。

学校現場でも想定されていない事象が次々と起こっている。教師の性犯罪は年々その数を増し、悪質になってきている。強制わいせつやセクハラで懲戒処分となる教師は毎年200人以上に及ぶ。そしてその犯人である教師は、周囲の評判がよく、熱心な先生で通っていたりするのだ。コロナ禍で一斉休校などの影響で、中高生の妊娠相談は2倍近くになり、小中学生の妊娠は年間400件を数える。珍しいことではなくなっている。また、少年の薬物乱用は増え続けて

おり、勉強熱心だと思われていた高校生が実は薬物中毒だということもありうる。東日本大震災の津波は想定外であったが、実際に大津波はやってきた。ましてや今のコロナ禍を中心とした感染症はとらえどころがなく、対応策は後手後手に回らざるを得ない。見通しはつかない<sup>5)</sup>。教育というのは一種の理想論であり、確実なものごとを教えようとする。しかし、子どもたちが直面する現実（問題）は、いつまでたっても不確実なままである。

### 3) 人生は常に複雑である…… Complexity(複雑性)

芥川龍之介は『侏儒の言葉』のなかで「人生は常に複雑である」と言っている。一つずつ一つずつ積み上げ、絡み合う、あるいは強調し合って多様性を保つから、「この世」は持続し均整がとれる。そのどれか一つが欠けても、うまくいかない。この構図はおよそ人間がその全てを把握することはできないほど複雑で、緻細で、緻密で、膨大なのだ。この言葉の後には「複雑なる人生を簡単にするものは、暴力よりほかにあるはずはない」と続く。複雑なものは当然壊れやすいものだ。

昔は、世の中単純だった。お父さんは大黒柱、お母さんは包容力満点、お姉ちゃんはやさしく、お兄ちゃんは頼りがいがある。男は黙って〇〇ビール！子どもは純真、教師は聖職、などなど。しかしどうだろう？物事というものは、物語は実は入り組んでいるのだ。この複雑性は時間をかければ、努力すれば、いつかは解けるというものではない。解けそう！と思った瞬間に新たに問題が絡みついてくる。すべての要素をかき集めるわけにはいかないし、もし集めたとしても膨大なデータをどう扱えばよいかわからない。たぶんAI（人工知能）の出番になるのかもしれない。複雑さゆえに曖昧にならざるを得なくなる。そして物事は不確実となり変動していく。

近年、子どもが抱える問題は多様化・複雑化し、学校現場では、様々な立場の人々が専門性を活かして連携し、協働して子どもたちを支援していくことの重要性が増している。その中で養護教諭は、他職員や外部機関との連携を円滑に進めるための、コーディネーター的な役割を担うことが多い。キーワードとして「連携」「組織活動」「協働」「コーディネート」「チーム」等の用語が使用されている<sup>6)</sup>。高校教育の多様化は「知的高度化」、「職業的専門化」、「再生化」であらわされ、養護教諭もその多様化に沿った対応が求められる<sup>7)</sup>。

### 4) あいまいさに耐える…… Ambiguity(曖昧性)

過去、曖昧さこそ、忌み嫌われる概念であった。すべては曖昧さからの脱却、そして白黒はつきりつける、ちゃんと説明できる、形あるものとして安心することを目指してきた。それが科学的というものであり文明というものだ。しかし断定できるものは、この世に実は少ない。そんなものはないのかもしれない。大国が小国に一方的に武力侵攻した。どちらが悪いのか、どちらが勝っているのか、休戦は？終戦はどうなるのか。それらはいつまでも曖昧なままである。マスコミの常として、報道はどちらか白黒をつけたがるが、ここはじっと曖昧なまを我慢するしかない。

子どもの精神疾患に診断をつけたい。しかし、様々な環境変化、時間の経過などによって、診断が決められない、あるいは2つ3つの病名を混在させざるを得ない。その曖昧さに耐えることが重要なのだ。レッテルを貼ることは安心できるし簡単だ。レッテルなど貼らず、その子どもを、そのままの眼で観察することが必要とされている。

今日も保健室に「あいまい来室者」がやってくる。「どうしたの?」と聞いても「なんとなく・・・」としか言わない。あるいは言えない。養護教諭はアセスメントしようとして「腹痛かな」「頭痛かな」「メンタルかな」「人間関係かな」「家庭の事情かな」などと考えるが、すぐには結論は出ない。養護教諭はその「あいまい」性に耐えて、辛抱強く対応することが求められる<sup>8)</sup>。あいまい来室者が求める保健室の役割を「避難所」「発散」「やすらぎ」の3つの項目に分類できた。あいまい来室者は、養護教諭の存在より保健室の場を求めて来室するということが多いことが報告されている<sup>9)</sup>。

### 3. OODA(ウーダ)ループの活用

元々、空軍が発祥と言われている。航空戦などの際に現場で素早く、判断・意思決定ができるようにと編み出された方法である。その方法が、スポーツなどの勝負事やビジネスの現場にも応用可能であるとして、導入する企業が増えてきている。

OODA ループは、Observe みる(観察)、Orient わかる(状況判断・方向づけ)、Decide きめる(意思決定)、Act うごく(行動)の頭文字を取ったものである。わかりやすく言うと、「みる」「わかる」「きめる」「うごく」になり、このループを回していくのがOODA ループになる。OODA ループの具体的なステップについて詳細に紹介する。

#### ① Observe みる(観察)

まずは、観察することから始まる。現場の状況や、社会の変化、新しい技術や競合他社の状況、自社内部の業績や雰囲気など、あらゆるものを観察して、自分以外の生のデータを収集する。

#### ② Orient わかる(状況判断・方向づけ)

観察で得た情報を分析し、次の意思決定に必要なものを整理する。

#### ③ Decide きめる(意思決定)

Observe みる で集めた情報を、Orient わかる で分析し、次の行動に繋がるための計画や意志決定を行う。この時点で、情報が不足していることがわかれば、Observe みる に戻り、再度、情報収集をすることも可能である。

#### ④ Act うごく(行動)

意思決定し、計画したことを実行に移す。実行しながら、その結果を観察し、再度情報を収集、Observe みる に戻りループを回していき、より良い行動に改善していく<sup>10)</sup>。

一方現在まで実業界を中心に産業保健など様々な分野で活用された有名な方法としてはPDCA サイクルがある。これはその名の通り Plan(計画)・Do(実行)・Check(評価)・Act(改善)の順にサイクルを回して行くことを指す。しかし、実際にはサイクルを回すのは難しいことが多い。なぜならばPDCA サイクルは、まずPlan(計画)を立てること始まる。我々が過去毎年のように夏休みにたてた宿題計画はうまくいった試しがない。最後まで見通して意義のあるそして実現可能な計画を立てことは至難の業であり、それができるということは既に実行できているに等しいと思われる

それに比べOODA ループは、Observe みる・Orient わかる・Decide きめる・Act うごく、からな

り、一般的には、まずは **Observe みる** から始まる。観察することはおそらく、計画を立てることよりもずっとハードルが低く、スタートでつまづく人は減ると思われる。加えて、OODA ループは、必要であればショートカットし、途中 **Decide きめる** の段階から **Observe みる** に戻ったり、**Orient わかる** から直接 **Act うごく** に移すことも想定されており、より柔軟に対応できる手法と言える<sup>11)</sup>。

コロナ禍の世界を **VUCA** で考え、そのような状況では、堅牢な証拠を待つのではなく、入手可能な情報に基づいて行動することが重要である。実験、絶え間ない学習、および修正された行動のための変更されたエビデンスの採用は、そのような状況に取り組むための鍵であると報告されている<sup>12)</sup>。また世界は COVID-19 パンデミックの真っ只中にあり、医療従事者と学生は、ますます「**VUCA**」（不安定で、不確実で、複雑で曖昧な）のヘルスケアと教育の環境を経験している。将来の医療従事者は、仕事、不確実性、変化の個人的および感情的な課題を管理するためのスキルセットを必要としている。これには、組織化、時間管理、積極的で一貫した臨床技能開発、効果的なコミュニケーション、人中心のアプローチ、内省やセルフケアが含まれる、との報告もある<sup>13)</sup>。

我が国においても、**VUCA** の時代に遭遇したことを不利益と捉えず、子どもの学習権を保障しながら、いかに「対話」を深化していくことが重要であると述べられている<sup>14)</sup>。あるいは、ICT教育の推進なども **VUCA** 時代に対応したものと考えられる<sup>15)</sup>。

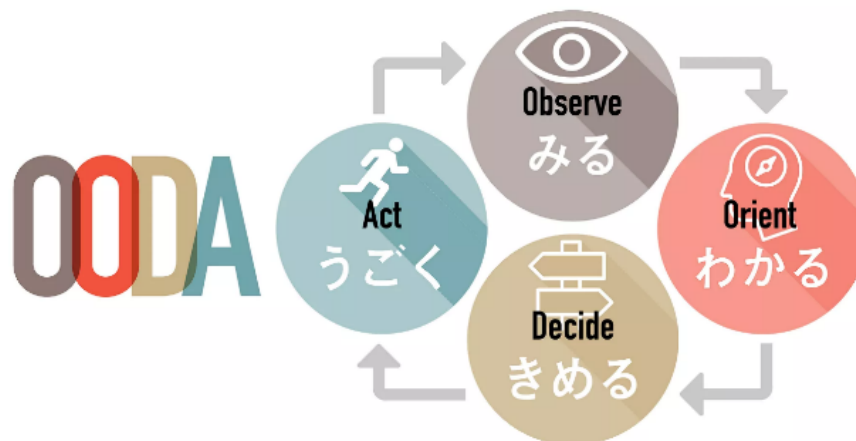


図2 OODA ループ

## 4. まとめ

VUCA 時代は、「今まで通りの延長線ではない時代」であることを意識して、積極的にすばやく情報収集し、状況を把握し、新しい決断を行動に移し、学校保健を次の段階に引き上げていくことが我々の責務である。そのために複雑性・多様性の正しい理解と、変化にすばやく対応できる柔軟性、行動するための連携、そして自己や他者との対話が重要と考えられた。

## 参考文献

- 1) 柴田彰、岡部雅仁、加藤守和. VUCA 変化の時代を生き抜く7つの条件. 日本経済新聞出版社. 231p. 2019
- 2) 文部科学省. 中央教育審議会. 教員の資質能力向上特別部会 教職生活の全体を通じた教員の資質能力の総合的な向上方策について (諮問)  
[https://www.mext.go.jp/a\\_menu/shotou/koushin/012/1294444.htm](https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/koushin/012/1294444.htm) (2022年11月1日アクセス可能)
- 3) 鎌塚優子. 時代の変化を見据えた健康相談・健康相談活動のあり方. 日本健康相談活動学会誌. 16(1):2-4. 2021
- 4) ジョン・K. ガルブレイズ(翻訳: 都留重人). 不確実性の時代. ティビーエス・ブリタニカ装丁. 494p. 1978
- 5) 日本学校保健会. 学校保健の動向 令和3年度版. 丸善出版株式会社. 2021
- 6) 山田響子、鶴岡和出、齊藤理砂子、岡田加奈子. 養護教諭の行う連携に関係する用語と連携推進要因の整理. 千葉大学教育学部研究紀要. 62:139-145. 2014
- 7) 朝倉隆司. 問題提起: 多様化する高校教育と養護教諭の課題. 日本健康相談活動学会誌. 14(1):2-5. 2019
- 8) 日本学校保健会. 保健室利用状況に関する調査報告書 平成28年度調査結果. 51p. 2018
- 9) 高野真樹、斉藤ふくみ. 保健室「あいまい来室者」の探索的研究—子どもの成長に着目して—. 茨城大学教育学部紀要(教育科学). 62:321-338. 2013
- 10) 入江仁之. OODA ループ思考[入門] 日本人のための世界最速思考マニュアル. ダイヤモンド社. 2019
- 11) PDCA との違いは? 現場に強いビジネスメソッド「OODA (ウーダ) ループ」とは?  
<https://data.wingarc.com/what-is-ooda-11126> (2022年11月1日アクセス可能)
- 12) Sathiabalan Murugan, Saranya Rajavel, Arun Kumar Aggarwal, Amarjeet Singh. VUCA in Context of the COVID-19 Pandemic Challenges and Way Forward. International Journal of Health Systems and Implementation Research. 4(2):10-16. 2020  
<https://ijhsir.ahsas-pgichd.org/index.php/ijhsir/article/view/93/89> (2022年11月1日アクセス可能)



- 13) Arti Maini, Yamini Saravanan, Tara A. Singh & Molly Fyfe. Coaching skills for medical education in a VUCA world. *MEDICAL TEACHER*. 42(11):1308-1309. 2020  
<https://doi.org/10.1080/0142159X.2020.1788713> (2022年11月1日アクセス可能)
- 14) 上原茉莉、青木一. VUCA 時代に対応した子どもの個性が生きる授業づくり—子ども理解を基にした構造的・相対的授業構想を手がかりに—. *未来を拓く教育実践学研究*. 6:116-125. 2022
- 15) 妹尾克利. 「VUCA の時代」における新たな学校づくりの課題. *中央大学政策文化総合研究所年報*. 24:221-232. 2020